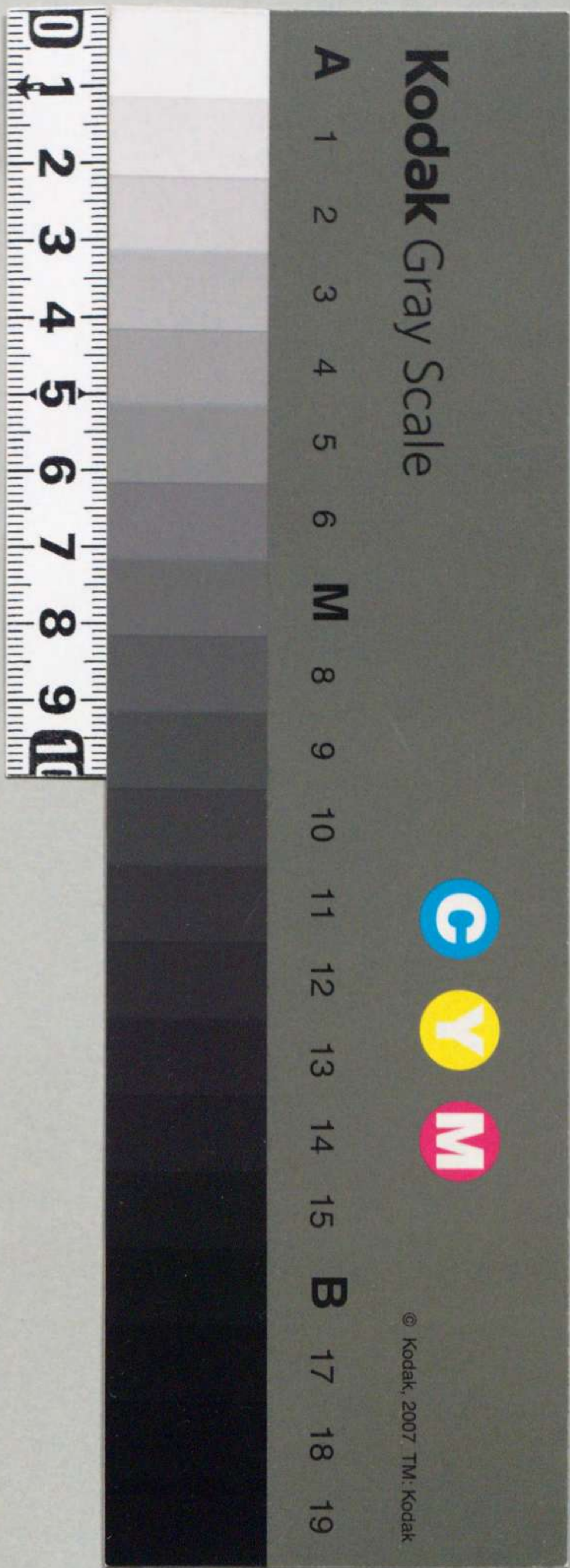


寛永諸家譜

清和源氏
大綱惣括

内閣文庫		
番號	和	20199
冊數	186	(3)
函號	獨 76	1





寛永諸家系圖傳

清和源氏大綱惣括

淺草文庫

清和天皇

貞純親王

經基王

滿仲

波政

水碓并山田等祖

頼光

頼親

池田波野土岐等祖
大和源氏攝津源氏祖

大和源氏等祖

義親
義圓

義家
義綱
義光

佐竹

武田

遠見

小笠原

南条等祖

頼任
義政

頼義
頼清
頼季

安藤并村と祖

保科井上と等祖

海季
海俊

諏訪并桐等祖

頼信
頼平
頼範
頼明
頼貞

為義

義朝

頼朝

義時

石河守

義隆

森守

義重

新田御先祖

義康

足利

清和源氏

甲

義家流

新田嫡流得河松平家

義家

八幡太郎

陸奥守

鎮守府將軍

義國

式部大丞

義重よしむね

新田大炊助しんたいたまひのすけ

贈鎮守府將軍おくりけんしゆらふのしんぐん

義康よしやす

足利の祖あしかしのそ

義範よしのり

太師之師たうししのし

伊豆守いずのみ

山名の祖やまなみのそ

義俊よしとし

太郎たろう

大新田と号すおほしんたたとごうす

里見田中守の祖さとみでなかつのそ

義兼よしとみ

新田之郎しんたのらう

一名義康いちなよしやす

小新田と号すこしんたたとごうす

義貞の祖よしさだのそ

義季よしすえ

得川四郎とくがわしろう

徳川之郎とくがわのらう

経義よしかげ

額戸之郎ぬかどりのらう

義光

新田冠者

義佐

小四郎

頼氏

世良田河守 河守 後五位

新田之河前司

新田得川松平正統 諸流此祖

清和源氏 乙

義家流

足利流

義家

八幡太郎

義國

初て足利と号す 式部左史

義重よししげ○

新田あらたの祖そ

甲かみの巻まきよりんえんころ

義康よしやす

足利あしかが隆奥たかおく判官はんくわん

義清よしひら

矢田やた判官はんくわん友代ともしろ

義實よしざね

廣沢ひろさわ判官はんくわん友代ともしろ

實國まことくに○

太郎たろう

仁才にさいの祖そ

義季よしゆき○

次郎じろ

細川ほそがわ乃祖のそ

義宗よしむね○

戸領とねい浩之ひろゆきの郎らう

荒川あらかわの祖そ

義兼よしあき

上総かみそと介すけ

義純よみつとむ

遠江守

畠山の祖はたけのやまのそ

義助よすけ

義胤よむね

近江守

近江守 桃井と号すももい

義氏よし

左馬頭

長氏ながし

上総介かみつとむ

波氏なみ

上総介

右良の祖みぎら

四氏よし

四郎

今川の祖いまがわ

義継よつぐ

左馬 四郎

蔭田の祖いんた

恭氏

宮内少輔

家氏

尾張守 尾張と号す 新波最上等此祖

義頭

次郎 深川と号す 板倉此祖

頼氏

治部大輔

頼茂

四郎 石堂と号す

公深

律師 一色此祖

義辨

律師 上野と号す 花房の祖

賢寶

法中 小股と号す

基氏

六郎

か右と号す

家時

伊豫守

貞氏

讃岐守

高義

左馬助

早世

尊氏

征夷大將軍正二位大納言 贈左大臣從一位
等持院殿と号し 仁山と称す

直義

右兵衛督

從二位

法名慧源

義詮

征夷大將軍 大納言 贈左大臣 從一位

寶篋院殿と号し瑞山と称す

義満

征夷大將軍 太政大臣 從一位 准三后

太上天皇の号を在り

麻苑院殿と号し天山と称す

海澄

從二位 権大納言

義持

征夷大將軍 内大臣 從一位 贈太政大臣

勝定院殿と号し顯山と称す

義嗣

権大納言

義量

征夷大將軍 参議 中将 早世

贈從一位 長得院殿と号し 葦山と称す

義教

征夷大將軍 左大臣 從一位 准之

贈太政大臣 普廣院殿と号し 岳山と称す

義勝

征夷大將軍 贈左大臣 從一位

慶雲院殿と号し 采山と称す

義政

征夷大將軍 左大臣 從一位 准之

贈太政大臣 慈照院殿と号し 喜山と称す

義尚

征夷大將軍 内大臣 贈太政大臣 從

一位 常德院殿と号し 悦山と称す

義視

大納言 准之 贈太政大臣 從一位

大智院殿と号し 久山と称す

政知

左兵衛督

伊豆下向

義材

征夷大將軍

宰相中納

贈太政大臣

從一位

名を義尹と

河々又義植と

河々

惠林院殿と

号一巖山と稱す

義澄

征夷大將軍

宰相中將

贈太政大臣

初代名義澄

河々義通より後

義高と河々

法住院殿と

号一旭山と号す

義晴

征夷大將軍

右大將

贈左大臣從一位

萬松院殿と

號一

暉山と稱す

義輝

征夷大將軍 冬儀 中將 贈右大臣

從一位 光源院殿と号し 融山と称す

周高

麻苑寺の僧

義昭

征夷大將軍 大納言 准后

靈陽院殿と号し 尚山と称す

直冬

右兵衛佐 中国の探題

基成

鎌倉右馬次 關東の管領

喜連川宮原并 陸山等の祖

清和源氏

丙

義家流

為義たけ義時よしとき義隆よしたか流りゅう

● 義家

● 義國よしくに

子孫しそん甲こうしの巻まきに詳しょうなり

為義たけよし

六條判官むつじょうはんぐん

義朝よしとも

下野守 左馬頭

義賢よしけん

常刀先生たてはき先生

義仲よしなかつ

木曾冠者きそのかんげ

馬場ばばの祖そ

義憲よしのり

志田しだ之の郎らう先生せんせい

或ハ義廣よしひろ也なり守し

頼賢たのけん

四郎しろう左さ兼かみ門かど尉ゑい

頼仲たのなかつ

掃部さうぶ助すけ

為家たけいけ

六郎むつらう

為成たけなり

七郎

為朝たけあさ

八郎

為仲たけなかと

九郎

行家たけいけ

十郎たけじゅう花人はなびと

為家たけいえ

鎮西ちんせい八郎はちろうと号す

頼定たのちか

淡路あわじ冠者かんじゃ

正親ただちか

加賀かが冠者かんじゃ

維義いぎ

練漕ねり冠者かんじゃ

松井まつい冠者かんじゃ

乙若おつわか

逸若おつわか

鶴若
天王丸

義平

鎌倉 忠源太

朝長

中宮 大文進

頼朝

征夷大將軍 右近大將 權大納言 正二位

義門

鴻津大友等の家傳より頼朝の子孫と稱す

宮内丞

希義

土佐冠者

範頼

之河守 蒲冠者 子孫を右見と号す

全成

河野法橋と号す

圓成えんじょう

愛智あいち卿きょう公こう

義経よしかげ

九郎くわにらう大だい丈じょう判はん官くわん

義時よしかげ

左ひだり兵衛べいゑ尉ゑい

石川いしかわのの祖そ

義隆よしかたか

陸奥むつ六むつ郎らう

森もり冠かん者じゃ

森もり并なみ押おし田たのの祖そ

清和せいわ源げん氏し

丁てい

頼光よりみつ流りゅう

頼光よりみつ

攝津せっしん守しゅ

頼圓よりま

攝津せっしん守しゅ

頼弘よりひろ

讚さん岐ぎ守しゅ

頼資らゐ

下野守

基圓もと

資兼らゐ

溝抗大丈みぞかひのたふ

平忌ひらぎ

頼實らゐ

左衛門尉

實圓まこと

左衛門尉

頼綱らゐ

多田ただの花人はなひと

圓房まろ

英濃みづの七郎

伴い祿守ろくしゅ

師光しこう

信濃しんのう守

福鴻ふくこうと号なづす

光圓ひこう

出羽守

光信

土岐出羽判官

光基

伊賀守

光衛

土岐英徳守

光行

出羽守

土岐諸流代祖

光時

淺野次郎

波野代祖

明圃

下野守

多田代祖

仲政

兵庫頭

圃直

義濃之郎

能勢清水福嶋落合守代祖

賴政

從三位

仲綱

伴豆守

太田の祖

兼綱

判官

大河内の祖

賴兼

花人

高田の祖

賴行

花人

仲川の祖

光重

三郎

深栖と号す

泰政

瀧に右馬允

池田の祖

清和源氏

戊

頼親流

大和源氏此流と号す

● 頼親

大和守

頼成

肥後守

頼房

肥前守

頼俊

陸奥守

頼風

從五位下

頼治

親弘

宇野冠者

頼景

愛子六郎

朝日此祖

親治

基弘

等此祖なり

宇野七郎

土方大森

依田

幸田

江川

斎院長官

信弘

豊嶋茂人と号す

信光

茂入判官代

高木此祖

頼遠もちとよ

福原之島ふくはらのしま

有光ありみつ

石河冠者いさわのかんざ

奥別石河おくわかたに

清和源氏

己

頼清もちよ 頼季もちゆき 流りゅう

頼信もちのぶ

河内守

頼義もちのり

伊豫守いよのし

頼清たのしみ

肥後守ひごのり

仲宗なかつゆ

筑前守ちくまのり

顯清あきしみ

茂人しげひと

為四たけしよ

判官代はんぐわんだい

村上天祖むらの上のそと

或盛清あるけしみの子こと云いふ

仲清なかつゆ

盛清せきしみ

茂人しげひと

茂人しげひと

家宗いへむね

上野介うのすけ

基宗もとむね

茂人しげひと

家基

之郎大丈

長基

太郎

安右の祖

頼季

井上掃部助

保科の祖

満實

之郎太郎

遠光

太郎

光平

時田太郎

井上の祖

家波

二郎

赤井の祖

盛光

高梨七郎

為實

須田九郎

須田九郎

清和源氏

庚辛

義光流

義光

新羅三郎

義業

進士判官

昌義まさよし

信濃守

常陸國依竹_の伯耆_守依竹_の伯耆

義定よしあき

遠江守

近江源氏山本_の伯耆

相本大島錦織等_のみ_る此_の末_{なり}

義清よしひら

武田冠者

盛義もりよし

平賀冠者

平賀_の伯耆

親義ちかよし

畠田冠者

畠田_の伯耆

清光しみずみつ

逸見冠者

黒源太

光長みつなが

逸見太郎

逸見_の伯耆

信義のぶよし

茂田右郎しげのたの

遠光とほひ

加次郎かじ

義定よしあき

安田之郎やすだの

安田次郎

清隆きよたか

安井四郎やすいし

長義ながよし

田井小次郎たいの

光義みつよし

田井五郎たいの

嚴尊げんそん

雷祢かみね 禪師ぜんじ

義行よしゆき

奈古十郎なごの

義成よしなり

凌利りょうり 与一よいち

此外兄弟なり多し

光朝

秋山太郎

秋山の祖

長清

小笠原次郎

小笠原諸流の祖

光行

南部三郎

南部の祖

忠頼

一條次郎

兼信

板垣三郎

有義

武田四郎

武田の祖

信光

伊沢五郎

伊沢を或は石和よす

後武田伊豆守と号す

武田諸流の祖

清和源氏

壬

海政
滿季
海快流

經基王

滿仲

海政

村長大夫

鎮守府將軍

忠重ちかひげ○

左衛門尉 水野并山田小嶋彦坂等みづののりやまのこじまひこしまたか○

波季なせき

致公ちこう

致任ちじん

武蔵守むさしのかみ

兵部丞へいぶのじやう

越前守えちぜんのかみ

定俊じやうしゆん

越前守えちぜんのかみ

為経たけつね○

越前之節 江別高屋えつべの高屋○祖いご樋口ひご○祖いご

満快まんかい

相模介さまのすけ

波國なくに

為波たけなみ

為公たけこう

甲斐守かいのかみ

甲斐守かいのかみ

信濃守しんねうのかみ

為衛たけゑ○

中津乘太郎

和久代祖

為枝たけ○

伴那太郎

諏訪部

飯田

松本代祖

為那たけな○

村上判官代

屋代

室賀代祖

為實たけざね○

夫田六郎

飯訪

安部

有賀代祖

為基たけもと○

片切源八

片切代祖

清和源氏

癸

支流

諸家孰より其の系属は清和源氏の裔
 と稱せしむるもその先祖の名を忘れ
 て系属次第詳ならずざるものあり
 是を官本の系圖より一々回記を以て
 のんぶ事をも其實存たしならずざる
 をハ志づくは家牒説をあるのせり
 支流と号す

